

ふわっとサイネージ インタラクティブサイネージソリューション

堤 太一

近年、大型テレビを利用し、様々なコンテンツを表示する電子看板（デジタルサイネージ）が台頭してきている。駅などの公共交通機関や金融機関の店舗、商業施設の案内などで広告や天気予報など多くの情報提供を実現している。表示するコンテンツも静止画、動画、音声など多様にわたり、見栄えの良い表示に見る方を楽しませている。

ただし、これまでのデジタルサイネージは一方的にコンテンツを表示するのみであったが、今回我々は実際に触って楽しめるサイネージシステムを開発した。

本稿では、従来の表示だけ実現するデジタルサイネージに見る人が実際に触って楽しめる双方向の機能を実現したインタラクティブサイネージ（ふわっとサイネージ）システムを紹介する。

デジタルサイネージ市場動向

デジタルサイネージ市場はこれまでディスプレイ製造メーカーが製品拡販のツールとして各種ソリューションを提供してきた。また各社自社製品に様々な機能を盛り込み、店舗や街中など多くの場所で目に付くようになってきた。

近年、より機能を持たせたサイネージシステムとして各社様々な機能を付加したデジタルサイネージシステムを販売し始めてきている。テレビ画面をタッチパネルにして見る人に選択させたり、カメラと連動してテレビの前に立つとその人が映し出され、仮想的に洋服を合わせることが出来るなど、拡張現実（AR: Augmented Reality）を実現する製品も出始めてきた¹⁾。

しかし継続的に利用してもらえるシステムにはなっていないのが実状である。

ふわっとサイネージシステム

(1) システムの特長

現在の市場動向を捉え、より見る人を引き付け、また導入した側にもメリットが出るようデジタルサイネージ

システムに双方向の要素を取り込んだ新製品（ふわっとサイネージ）を開発した。

ふわっとサイネージシステムは、これまで販売してきたデジタルサイネージソリューション（ブロードメッセンジャー）に、独自の表現方式として、流れてきたコンテンツをタッチすることにより、見る人にはさらに細かな情報やクーポンなどを提供し、かつ導入側には見た人がどのようなコンテンツに興味があったかなどマーケティング情報を提供することが可能なタッチパネルを採用した双方向デジタルサイネージシステムである。

(2) 画面イメージ

以下にふわっとサイネージシステムの表示画面イメージを示す。

以下の例では金融機関向けに金利の表示やテロップの表示に加え、インタラクティブ画面を組み合わせた例である。

＜3分割：金利表示、テロップ、インタラクティブ画面＞

金利表示にプラスしてインタラクティブ画面を表示して利用



図1 インタラクティブ画面例

(3) システム概要

ふわっとサイネージシステムは、1拠点から導入可能なスタンドアロンタイプとして製品化を行った。今後はセンターにてコンテンツ管理、配信を行うオンラインタイプも検討を進めていく予定である。

スタンドアロンタイプは、大型テレビと制御端末

(PC)で構成され、表示するコンテンツはUSBメモリなどで制御PCに登録を行う。

将来的にはオンラインタイプとしてセンターにオーサリング端末や拠点管理、コンテンツ配信を行う配信サーバを設置し、拠点毎の管理運用を行うシステムも検討を行う。

また、ふわっとサイネージシステムでは、単にコンテンツの表示だけではなく、プリンターやカードリーダーなど各種デバイスと接続するためのインタフェースを用意し、お客様のご用件に合わせたシステム構成を容易に実現することが出来る。また操作記録を残し、どのようなコンテンツをどの程度選択されたかなど今後のビジネスに有益な状況を導入者側に提供することが出来る。

また表示するコンテンツを容易に登録できる登録ツールも用意しており、導入者が地域の情報などを登録し、自ら運用が可能な仕組みも提供する。

あとがき

以上、ふわっとサイネージシステムを紹介した。デジタルサイネージ市場は今後あらゆるシーンで利用が拡大され则认为している。その中で双方向を実現したふわっとサイネージシステムは市場を問わず幅広く展開できると考えている。

またふわっとサイネージシステムの導入効果としては、店舗などの集客力向上を始め、従来のサイネージに

比べ情報提供料のアップ、お客様の潜在的興味、ニーズの喚起などが考えられる。◆◆

参考文献

1) SONY インタラクティブサイネージMITENE

●筆者紹介

堤太一：Taichi Tsutsumi. ソリューション&サービス事業本部 金融システム事業部 金融ソリューション開発第1部

TiPO【基本用語解説】

デジタルサイネージシステム

表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や情報を表示する広告媒体である。

インタラクティブサイネージ

タッチパネルなどを使用して、平面ディスプレイなどに表示されたコンテンツを選択するなど、デジタルサイネージシステムに双方向の要素を組み込んだシステムである。

拡張現実 (AR: Augmented Reality)

人が知覚する現実環境をコンピュータにより拡張する技術、およびコンピュータにより拡張された現実環境そのものを指す言葉である。



図2 ふわっとサイネージの特長